



■発行所／(株)びゅ〜すまいる編集舗・みまもり未来プレス編集部
 ■2024年5月16日発行号 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

ネコリコ

<https://www.necolico.co.jp/emo/>

もうすぐ『BOCCO emo』との会話が楽しめる？

新機能「自由会話機能（仮称）」の開発を発表

ネコリコ(東京都千代田区)では、同社『BOCCO emo LTEモデル Powered by ネコリコ』の「emoと”自由な”会話ができる」ことを目指した新機能『自由会話機能(仮称)』の開発に着手したことを発表。また、当該機能のクローズドβテストのテスター募集も併せて開始した。

2024年5月11日で正式サービスを開始してから3年となる『BOCCO emo LTEモデル Powered by ネコリコ』。4年目に突入した同サービスだが、まだまだ多くのユーザーからの意見・要望が届くといい、その中でも「エモちゃんともっと会話したい」というユーザーの思いが強いものであることを感じているという同社。

「弊社はお客様の思いにお応えするため日々技術開発に取り組んでおり、これまでも、emoが声掛けする『おかえり機能』や、emoがあいさつに返答する『おへんじ機能』などの機能を順

次リリースしてまいりました。一方で、『会話する楽しみ』を提供するというご期待には十分に答えることができていませんでしたが、昨今の技術の進歩は目覚ましく、いよいよ『会話する楽しみ』を提供できる機能の開発に目途をつけることができました——(同社より)。

この新機能はまだ「自由会話機能(仮称)」とされているが、間違いなく「emoと”自由な”会話ができる」機能であり、「会話する楽しみ」を提供できる機能となっていると同社は自信をのぞかせる。「ただ、さらにお客様に満足いただける形で提供したいという思いから、今回開発を発表するとともに、本機能のクローズドβ

テスト(以下、本βテスト)にご協力いただけるお客様を募集することいたしました——(同社)。

本βテストでは、テスターとなったユーザーに開発中の新機能『自由会話機能(仮称)』を利用することで、同社で行う正式リリースに向けた機能調整や運用負荷調整などに協力するかたちとなる。現在『BOCCO emo LTEモデル Powered by ネコリコ』を利用中の全てのユーザーが対象で、参加費用は無料。



シニアが元気になると 日本が元気になる！

元気シニア倶楽部 会員募集中!!

—入会費・年会費なし—

一般社団法人

日本元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-4-5 第3伊藤ビル4階
 tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



マルエツ「移動スーパー」3号車が運行開始

5月15日より～ユーザーの「お困りごと」解消につながるサービスを～

当社は、地域におけるライフラインとしての役割を担うため、店舗にご来店いただくお客さまはもちろん、さまざまな理由でご来店いただけないお客さまを含めた、すべてのお客さまの「お困りごと」解消につながるサービスの提供に努めております。

2023年11月に、『マルエツ 四季の森フォレオ店(神奈川県横浜市旭区)』で1号車が、2024年1月にマルエツ 長津田駅前店(神奈川県横浜市緑区)で2号車の運行が開始されたのに続き、このほど、マルエツ 井土ヶ谷店において、

3号車目となる「移動スーパー」の運行を、5月15日(水)がスタートする。「さまざまな理由で直接ご来店いただくことができない方々へ、新鮮な食品や生活必需品をお届けすることで、地域の皆さまの健康で豊かな食生活に

貢献してまいります。当社は今後も、多様化するお客さまのライフスタイルに対応し、すべてのお客さまに便利で楽しいお買い物体験を提供してまいります——(同社より)。



<https://www.maruetsu.co.jp/>

「こども宅食」を全国に広げる活動のため「2,000万円目標」

『こども宅食応援団』2024年度クラウドファンディング開始

こども宅食応援団(一般社団法人/佐賀県佐賀市)では、『ふるさと納税』を用いたクラウドファンディングを開始した。2024年5月15日より。

「こども宅食」は、経済的に厳しいなどの困りごとを抱えた子育て家庭に、食品等を定期的に届けることでゆるやかにつながる関係を保ちながら、家庭を見守り、必要に応じて地域の様々な支援につなげる事業。

こども宅食応援団では「こども宅

食」を全国に広げるための活動資金を毎年、ふるさと納税を用いたクラウドファンディングで集めており、2018年の団体発足時からの支援者は、のべ「約4,000名」にのぼるといふ。今年目標額は「2,000万円」としている。

プロジェクト概要「孤立を生まない社会をつくる。命をつなぐ「こども宅食」を全

国に広げたい』。寄付募集期間は2024年5月15日～2025年3月31日まで。



<https://www.furusato-tax.jp/gcf/3002>

アイデアの**商品化**を推進する 発明事業化促進
身近な**発明展**
身近な**ヒント**

特許料
3億円!

アイデア
募集中

特許料
6千万円!

発明家たちの
登竜門

企業の
新製品
開発に



小さな創造を社会に活かす
一般社団法人**発明学会**

<https://www.hatsumei.or.jp/>

情熱の発明商品・発掘プロジェクト 生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会（東京都新宿区）のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介します。子どもや高齢者、そして生活全般にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

第82回 浴室の蛇口に接続するだけで、 お手軽に肩湯が楽しめる！

『お家で肩湯』



「肩湯」は、肩が温まるだけでなく、お湯が流れる音にも趣があり、システムバスでも「肩湯」が楽しめる高級なオプションがあるほど、最高の入浴を楽しむことができます。

この「肩湯」を、どうにか賃貸住宅でも味わうことが出来ないの
「電源も給水ポンプも不要な蛇口直結型を作ってみてはどうか」と考え、完成したのが、今回紹介する『お家で肩湯』です。

構造はとてもシンプルで、3つのパーツを組み合わせるだけです。蛇口差し込み用のソケット、約240mm幅のスリットから肩湯を出す吐水パイプ、そしてその両方をつなぐ接続パイプ。吐水パイプの裏面には浴室の壁に固定するためのマグネットが付いています。

設置方法も簡単で、最初にソケットと吐水パイプを接続パイプにそれぞれ回し入れ一体化させ、次にソケット部に蛇口を差し込み、最後に吐水パイプのマグネット部分で壁に固定し準備完了です。蛇口直結型なので、電源も不要で、見た目にも浴室にすっきり収まります。蛇口が左右どちらにある場合も使用できるよう、左右反転式にした点も工夫した部分です。

か、商品を探していた物井雄一さん。後付け出来るコンセント式の商品は発見しましたが、電源コードや給水ポンプなどが必要のため、浴室の扉には閉められない問題がありました。そこで「電源も給水ポンプも不要な蛇口直結型を作ってみてはどうか」と考え、完成したのが、今回紹介する『お家で肩湯』です。

吐水パイプの裏面には浴室の壁に固定するためのマグネットが付いています。設置方法も簡単で、最初にソケットと吐水パイプを接続パイプにそれぞれ回し入れ一体化させ、次にソケット部に蛇口を差し込み、最後に吐水パイプのマグネット部分で壁に固定し準備完了です。蛇口直結型なので、電源も不要で、見た目にも浴室にすっきり収まります。蛇口が左右どちらにある場合も使用できるよう、左右反転式にした点も工夫した部分です。

使用方は、湯船にいつもよりお湯を少なめに張った状態から、蛇口をひねり、肩湯を始めます。お湯が出る吐水部分に頭をもたせると、首元から肩あたりにお湯が当たります。お湯が溜まるころには体はポカポカです。



無料プレゼント！ 発明ガイドブック

「発明ライフ入門」(希望者は下記まで)

〈この商品のお問い合わせは〉

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで

東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル

☎ 03 (5366) 8811 y-matsuno@hatsumei.or.jp

<https://www.hatsumei.or.jp/>



こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレンモンジュ・林野均の「シニア`萬、遊記」第80回

緒について、高齢独居問題の対応策

「高齢独居」という言葉をいろいろなところで見聞きするようになりました。厚生労働省の国民生活基礎調査によると、65歳以上の一人暮らし世帯は2022年に全国で873万で、2001年の倍以上に増えたそうです。未婚化の進んだ世代が老後を迎え、今後さらに増えると予想されているようです。

1960年代に急激に上昇し、1963年（昭和38年）には流行語ともなった「核家族化」がここに来て大きな影響をおよぼしているのでしょうか。未婚でなくても高齢夫婦世帯でひとりが体調を崩して入院すれば「独居老人」と同じような状態になってしまいます。

そんな状態で亡くなった場合に

は死亡届けを出す身寄りもおらず、病院長の名前で届けた件数が増加傾向にあるそうです。そんな状況をいつまでも放っておくことはできないと、やっと国や自治体が気づいたのでしょうか、支援する取り組みの検討が始まったようです。

行政手続きの代行など生前のことから、葬儀や納骨といった死後の対応まで、継続的に支援する取り組みを一部の市町村で試行しましたようです。サービスを提供する民間事業者もすでに始まっていますが、もちろん相当高額な費用が発生しますし、どこまで信用していいのかの判断材料も個人では持ち合わせていないでしょう。

今検討されているのは二つのモ

デル。一つは、市町村や社会福祉協議会などに相談窓口を設け「コーディネーター」を配置するもの。もう一つは、市町村の委託、補助を受けた社会福祉協議会などが、介護保険などの手続き代行から金銭管理、緊急連絡先としての受託、死後対応などをパッケージで提供するものです。まだ「検討」段階なのでもうしばらく時間はかかりそうですが、やっと取り組みを始めたということは評価すべきなのかもしれません。もう、「マンションで孤独死」などというニュースは聞きたくありません。

*画像はイメージです



Author / 林野 均 (はやしの ひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表 / 一般社団法人 日本元気シニア総研研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。 <https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの
『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、
夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを
応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ

プランニング・ブレン・モンジュ

tel.090-3682-3310

